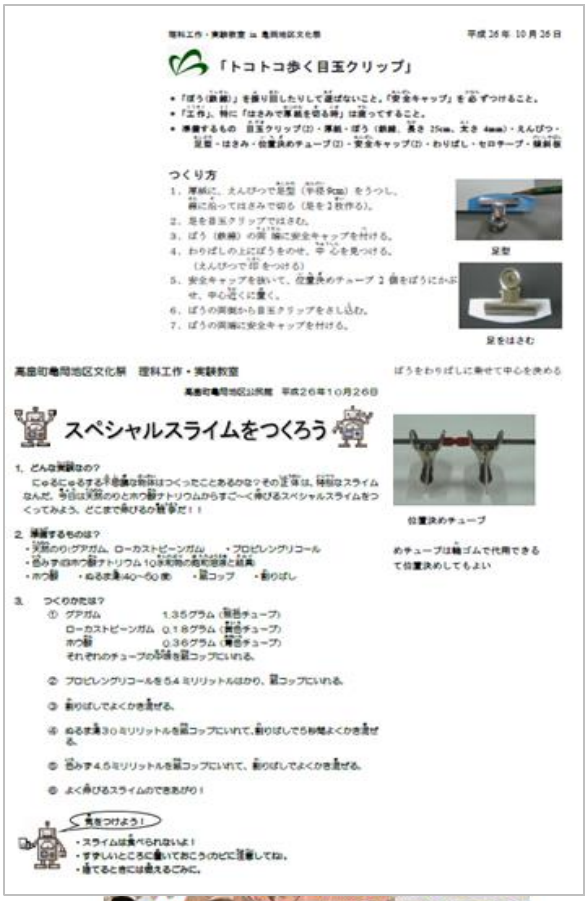
高畠町亀岡地区文化祭 理科工作・実験教室

機器分析技術室　水沼里美

日　時：平成２６年１０月２６日(日)
１０：００～１１：３０
場　所：高畠町亀岡地区公民館
屋外テント
参加者：小学生５５名
（トコトコ：２５名）
（スライム：３０名）
付き添い保護者：２０名
テーマ：
①トコトコ歩く目玉クリップをつくろう
②スペシャルスライムをつくろう
指導者：大橋栄市（統括技術長）
菊地新一（地域連携担当）
羽賀惠壽（地域連携担当）
水沼里美（機器分析技術室）



平成26年10月26日

「トコトコ歩く目玉クリップ」

つくり方

2. 足を目玉クリップではさむ。

6. ぼうの両側から目玉クリップをさし込む。

7. ぼうの両端に安全キャップを付ける。

足型

足をはさむ

高畠町亀岡地区文化祭　理科工作・実験教室

高畠町亀岡地区公民館　平成２６年１０月２６日

スペシャルスライムをつくろう

位置決めチューブ

3. つくりかたは？

⑥ よく伸びるスライムのできあがり！

気をつけよう！

高畠町亀岡地区公民館からの依頼を受けて、「亀岡地区文化祭」の１ブースとして実施しました。理科工作・実験教室は原則小学校４年生以上を対象にしていることを事前に伝え３年生以下の児童には保護者の同伴をお願いしました。当日は天候に恵まれよく晴れたものの、気温が低く、肌寒い中での実施となりました。スライムは気温が低いせいで硼砂溶液が飽和濃度に達していなかったためか、失敗が相次ぎ途中で中止になりました。トコトコ歩く目玉クリップは盛況で、子どもたちは自分が作成した目玉クリップを真っ直ぐ歩かせようと、厚紙の位置を調整するなど夢中になって取り組んでいました。